



第81号

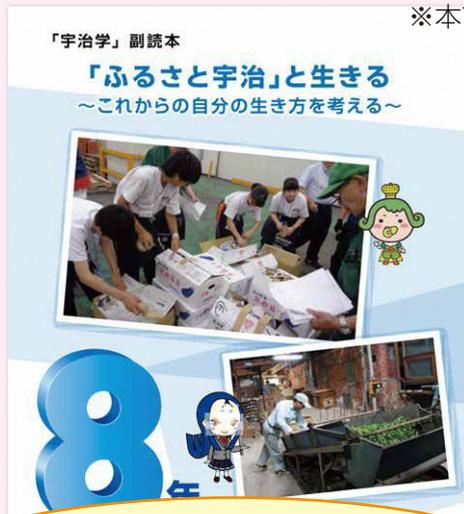
宇治市の教育だより

発行 宇治市教育委員会
〒611-8501
京都府宇治市
宇治琵琶33番地
TEL (0774) 21-1879
http://www.uji.ed.jp/
編集 一貫教育課内
「学校教育広報」
編集委員会

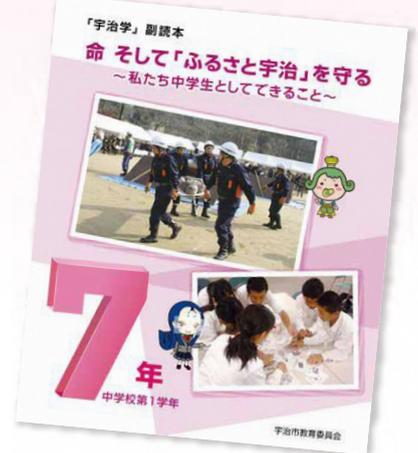
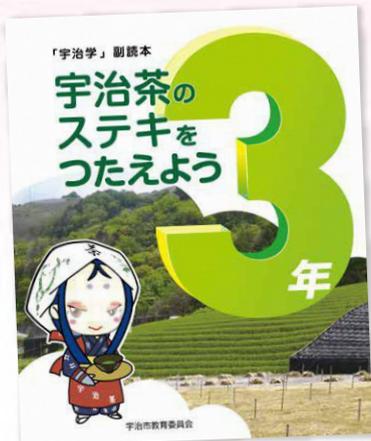
いよいよ「宇治学」副読本が勢揃い！ ～探究的な学びの具現化に向けて～

本市では、平成27年度より「宇治学」副読本作成に着手し、平成28年度に小学校3・6年生版、平成29年度に小学校4年生・中学校1年生（7年生）版を発行しました。今年度末には、いよいよ小学校5年生・中学校2・3年生（8・9年生）版が間もなく完成します。

※本市では、「総合的な学習の時間」を「宇治学」と呼んでいます。



**「宇治で学ぶ、宇治を学ぶ、
宇治のために学ぶ」**



◆この宇治市の教育だよりは、古紙を配合した再生紙を使用しています。限りある資源を大切に◆

京都府教育委員会主催
平成30年度 小論文グランプリ入賞者

入選 「若い世代の政治参加」	高橋 悠希 (南宇治中学校)
「文化の継承」	五井 香奈絵 (東宇治中学校)
「日本人が英語を話せない理由」	藤野 雄夏 (黄檗中学校)
「運動不足について」	増田 彩乃 (榎島中学校)

宇治市立幼稚園、小・中学校の 講師登録者募集中!

フルタイムでなくても大丈夫かしら?
先生の仕事に興味があるんだけど...

講師登録は随時受け付けています。迷っている方も、まずはご連絡ください。

【お問い合わせ先】宇治市教育委員会 教育総務課 教職員係
[直通電話]0774-20-8755

走った! つないだ! 宇治市小学生駅伝大会

11月10日に第28回「宇治市小学生駅伝大会」が京都府立山城総合運動公園で開催され、64チーム、400名あまりの児童が参加しました。選手たちは、たすきをつなげるため、日頃の練習の成果を発揮し、精一杯走りました。入賞チームの学校は以下のとおりです。

また、12月1日に開催された第12回「やましろ未来っ子小学校EKIDEN」には、宇治市から7校(大開小・木幡小・伊勢田小・南部小・神明小・菟道第二小・西大久保小)が出場しました。

	男女混合の部	男子の部	女子の部
1位	大開小学校	岡屋小学校	宇治小学校
2位	木幡小学校	南小倉小学校	岡屋小学校
3位	伊勢田小学校	御蔵山小学校	木幡小学校
4位	南部小学校	北小倉小学校	北小倉小学校
5位	神明小学校	大久保小学校	菟道第二小学校
6位	菟道第二小学校	木幡小学校	御蔵山小学校



京都府学力診断テスト 結果概要

実施日：平成30年10月23日
対象：宇治市立全中学校 第2学年生徒
調査教科：国語、数学、英語

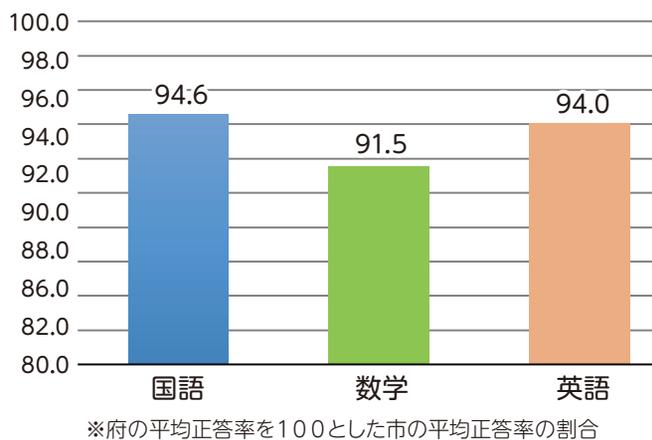
京都府学力診断テストは、京都府内の中学校2年生を対象に、国語、数学、英語における生徒の学習状況についての的確な把握と学校における指導方法の工夫改善に役立てるため実施しています。

【出題範囲】 中学校第1学年から第2学年9月末までの国語、数学、英語の学習内容

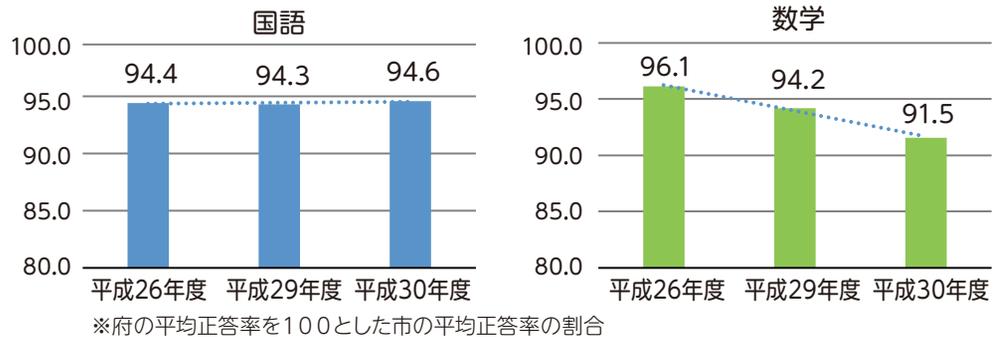
中学校2年生

全体平均正答率(%)

	宇治市	京都府	差
国語	65.5	69.3	-3.8
算数	55.4	60.5	-5.1
英語	59.5	63.2	-3.7



中学校2年生(平成30年度)の小学校4年生時(平成26年度)及び中学校1年生時(平成29年度)との平均正答率経年比較



各教科とも、全体平均正答率において府を下回る結果です。国語では、熟語の構成などの「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」領域、数学では、指数計算や文字を用いて整数を表す方法などの「数と式」領域、英語では、時制や数に着目して適切な形で表現するなどの「書くこと」領域で、特に課題が見られます。また、小学校4年時及び中学校1年時に実施した府学力診断テストとの経年比較によると、国語は、府との平均正答率の差が若干縮まっており、改善傾向が見られますが、数学は、差が広がっています。

今後とも、基礎的・基本的な学習内容の定着を図るため、授業改善をはじめとする、義務教育9年間を見通した指導の充実を図ることが大切です。

研究校の研究発表を紹介します!



京都府山城教育局指定

学力向上システム開発校 研究発表会【北宇治中学校】

「質の高い学力への向上、主体的・協働的に学ぶ生徒の育成～わかる楽しさ、伝え・できる喜びを学習意欲につなぐ～」を研究主題とし、12月7日に学力向上システム開発校の研究発表会が、北宇治中学校にて開催されました。

2年生の全クラスでそれぞれ国語、社会、数学、英語、道徳の公開授業が行われ、府内から大勢の先生が参観されました。その後体育館で行われた全体会では、オープニングセレモニーとして、3年生が美しい学年合唱で集まった先生方を出迎えました。



2年生(数学)の授業



2年生(英語)の授業

京都府小学校教育研究会

家庭科教育研究大会【槇島小学校】

「豊かな心と実践力を育み、未来を拓く家庭科教育」Happy Life ～学んで 生かして つながって～を研究主題とし、11月20日に家庭科教育研究大会が槇島小学校にて開催されました。

生活・家庭・総合的な学習の時間で14の公開授業が行われ、多くの先生方が参観される中、生き生きと学習する児童の姿が見られました。全体会の前には、華やかなマーチングバンドの演奏で参加者を歓迎しました。



2年生(生活)の授業



6年生(家庭)の授業

第67回 全国へき地研究大会京都大会 第33回 近畿へき地教育研究大会 第8回 京都府へき地・小規模校教育研究大会【笠取小学校】

10月11・12日の2日間にわたり、第67回全国へき地教育研究大会京都大会、第33回近畿へき地教育研究大会、第8回京都府へき地・小規模校教育研究大会が、京都府各地で開催されました。北は京丹後市から南は宇治市まで、9校で研究授業が公開されました。

「歴史と伝統の京都から 人とつながり 挑戦し続け 未来を切り拓く子どもを育もう」を大会スローガンとし、情緒溢れる京都に全国各地から約900名の先生方が参加されました。2日目に公開授業を行った笠取小学校では、100名を越える先生方が、探究的な見方・考え方を働かせ、楽しく学習する児童の様子を参観されました。



1・2年生の生活科



児童による祭り太鼓



体育館での研究発表の様子

〔8面〕開校48年目↓46年目
継続的学習指導→継続的生徒指導
80号(前号)4面・8面について、誤りがありました。ここに訂正し、訂正いたします。
〔4面〕棒グラフ左から二つめ、

宇治市小中一貫教育推進協議会委員による視察から

小中一貫教育推進協議会は、本市の小中一貫教育の取組の進行管理を目的に学識経験者、小・中学校保護者代表、地域関係団体代表、小・中学校関係者代表で構成しています。今年度は、ブロックによる合同研修および授業の様子を視察しました。

〈宇治黄檗学園の視察より〉

学園会選挙では、中学生だけでなく、小学校5・6年生も参加しており、中学生が主体となって行う選挙でした。小学生が参加できるのは、とても良い刺激になると思いました。(保護者代表委員)



ラーニングコーディネーターから取り組みの説明を聞く委員
(西小倉中学校ブロック)

〈西宇治中学校ブロックの視察より〉

チーフコーディネーターが率先してコーディネーター間の連携を密にする努力をされていると感じました。公開授業の指導案を受け取りましたが、綿密に立案されており、ご苦勞の一端を垣間見ました。また、いずれの指導案の中にも、小中一貫教育の視点という項目が設定されていることに、常に小中のつながりを意識して授業をしてくださっていることを確認できたことは良かったと思います。

(地域関係団体代表委員)



小小連携による小中一貫教育推進委員会
(南宇治中学校ブロック)

〈南宇治中学校ブロックの視察より〉

帰国外国人児童生徒理解学習において、小学生への中学生による中国武術の指導を参観しました。そこでは、「今しかできないことをしている」と自らの活動に自信を持って小学生に話している中学生の姿がありました。この地域の特徴を生かし、継続して取り組まれていることが、この中学生の言葉から十分伝わりました。素晴らしい取組だと感じました。(学校関係者代表委員)

シリーズコラム 子育ては良い循環を作ること

第9回 落ち着きのない子に 命を救われた話

今から60年ほど前のこと、ある若い男性教諭が、岡山県北部の小さな小学校から、20名余りの児童を連れて四国高松に渡りました。一泊二日の修学旅行の行程を終えて、児童たちと高松港で帰りの船を待っているところで、当時、瀬戸内海に橋は架かっておらず、岡山の宇野と高松を繋ぐ宇高連絡船が、本州と四国をつなぐ唯一の交通機関でした。

まもなく出航する船に乗り込もうというその時、一人の男子児童が何を思ったのか急に立ち上がり列を離れてどこかへ行ってしまう。教諭は慌ててその子を追いかけてきました。とにかく捕まえて一緒に船に乗らないと岡山に帰れません。しかし、その子はどこに隠れているのか、いくら探しても見つかりません。焦る気持ちで探し回り、何とか見つけて皆の待っている列に戻ろうとしたその時、何と船は出航してしまっていたのです。教諭と20名余りの児童達と共に高松港に取り残されてしまいました。当時のことですから携帯はおろか電話もなく、家や学校に連絡もできないまま途方に暮れてしまいました。

ところが、その教諭と児童が乗るはずだった船は、出港してわずか15分後、あろうことか他の船と衝突し沈没してしまっていたのです。乗船していた168名の命が犠牲になりました。その中には、100名もの修学旅行中の児童生徒と引率教員も含まれていました。戦後例を見ない我が国最悪の海難事故として後々まで語り継がれることになった紫雲丸、まさにその事故でした。

さて、小学校では、紫雲丸沈没のニュースに大きな衝撃と悲しみ、嘆きが広がりました。男性教諭の新婚の妻は、早くも未亡人になってしまったと憐れまれたそうです。そこに児童全員と教諭がひよこり帰ってきたのですから、保護者はもちろんのこと地元住民、学校関係者の驚きと喜びはいかばかりだったでしょうか。

出航前に急に目が見えなくなってしまった男子児童は、皆とは違うことに目が奪われて、勝手な行動をとっ



執筆者
定本 ゆきこ氏
精神科医
京都少年鑑別所 勤務

プロフィール

非行に及んだ子どもたちの鑑別をとおして、虐待やいじめ、発達障害など、子どもをめぐる様々な問題に取り組まれています。とりわけ思春期の問題行動に関わる他、不登校やひきこもりの臨床にも長年携わり、子どもと親への支援を続けておられます。
京都府いじめ防止対策委員会委員、宇治市学校支援チーム委員等多数歴任
京都市在住5児の母

てしまう落ち着きのない子だったので、おそらく今で言うADHDか自閉症スペクトラムの子どもだったのではないのでしょうか。いつもは困った子、変な子として見られていたであろうその子は、きっとこの時ばかりは、皆から溢れんばかりの感謝と称賛を浴びたのではないのでしょうか。なにしろ、この子どもも行動によって子ども達と先生全員の命が救われたのですから。

彼が一体その時何を感じて、急に列を飛び出したのか、今となっては知る由もありません。しかし、人一倍純粹で、敏感な彼らの行動は常識はずれに見えるが、私達に何かしら大切なことを教えてくれることがあるのです。頭から否定するのではなく、少し余裕を持って子どもたちの気持ちや感性に焦点を当てて心の耳を澄ませば、案外正しいこと、気付かなかったことを教えてくれることがわかりました。私達には見えないものを見て、感じられないものを感じ取っているのかもしれない。

実は、この男性教諭とは、私の父親です。この日、予定通り船に乗り込んでいたら、紫雲丸と共に海に沈んでいたかもしれません。そうなる私と私も産まれてこなかったことになりました。発達障害と思われるこの児童のおかげで私はこの世に生を受けることができ、この仕事について、今発達障害の子どもの支援をさせて頂いているのです。何とも不思議な縁の中で、私は生かされ働かされているのだと、感慨に包まれます。

親との縁、子との縁は、文字通り得難い、有り難いものです。せつかくですから、大切にしたいものです。

My school pride ~私たちの学校自慢~



神明小学校



神明小学校は、全校児童561名、20学級の中規模校です。

「自ら学び、共に学び合う子」、「違いを認め合い、助け合う子」、「ねばり強く、やりぬく子」をめざす児童像に掲げ、教育活動を行っています。

本校の自慢は、校歌を三部で合唱することです。入学式や卒業式では、出席された来賓や地域の皆様から、「きれいな歌声ですね」とお褒めの言葉をいただいています。年4回行っている「ドレミの会」では、校歌のパート練習や各学年の美しい歌声、迫力のある合奏を発表しています。

小中一貫教育では、小学生と中学生が交流したり、教職員が合同で授業研究を行ったりすることで、義務教育9年間の学びを推進しています。

図書ボランティアや「見守りたい」をはじめとする、地域の皆様に大きな支えとなっていただいているのも自慢の1つです。これからも地域の学校として、保護者や地域の皆様と連携しながら共に歩んでいきたいと考えています。

学校行事・児童会行事



ドレミの会(音楽集会)



一年生を迎える会

小中一貫教育



小中合同あいさつ運動



宇治学(お茶の学習)

地域の皆様と共に



クリスマスお話し会



「子ども110番のいえ」スタンダラー



木幡中学校



木幡中学校は、今年で開校45年目の中学校です。全校生徒数は、867名(26学級)と、京都府内でも非常に大きな規模の中学校です。「自主・自律、教養と体力、生命・人権の尊重」を学校教育目標とし、日々の教育活動に取り組んでいます。

本校の修学旅行は、3年生が、初夏の長野県で様々な文化・スポーツなどを取り入れ、体験型で実施しています。生徒会活動は、体育大会や文化祭などの各行事を生徒の手で企画・運営し、積極的に活動しています。部活動も盛んで、毎年たくさんの部が優秀な成績を残しています。

また、「おもろいやんか木幡」をはじめとする地域の行事や取組、育友会活動も活発で、保護者や地域の方々に見守っていただいています。

これからも、学校・家庭・地域がしっかりつながり、木幡中学校区一丸となって、より良い学校を目指していきます。

生徒総会



修学旅行



体育大会



文化祭



部活動



おもろいやんか木幡



ひとりで なやんでいませんか? ~こまったことがあれば そうだんしましょう~

宇治市 教育支援センター
「相談室」

☎ **0774-21-1890** または **1879**
月曜日～金曜日9:00～17:00(祝日・年末年始除く)

宇治青少年こころの電話

☎ **0774-24-0800**
月曜日～金曜日9:00～17:00(祝日・年末年始除く)



『宇治市の教育だより』は、宇治市ホームページ
(<http://www.city.uji.kyoto.jp>)から閲覧することができます。



第79号からは、トップ画面「組織紹介」をクリックし、
【教育支援センター】一貫教育課の「リーフレット」内にあります。

※第78号までは、トップ画面「ライブ
イベントの入園・入学」をクリックし、
「市立小・中学校へのページ」内に
あります。